

桜井市長 松井 正剛 様

2020年8月21日
日本共産党桜井市委員会委員長・市議会議員 吉田忠雄

新型コロナウイルス感染拡大抑止のための緊急申し入れ

新型コロナウイルス禍から、市民の命と暮らしを守るために、ご奮闘いただいていることに対して心から敬意を表します。新型コロナウイルス感染症の感染者数が、全国で最多を更新しました。桜井市においても7月以降の感染者は10名（8月20日現在）と、それ以前の感染者数3名を超えており、まさに「第2波」ともいえる状況となっています。

安倍政権は外出抑制と矛盾する「GoToトラベル」の実施をおこない、このことによって更なる感染拡大が危惧されています。いま感染拡大抑止のためには、人口比の実施数が世界で156位（2020年8月3日現在）となっている、PCR検査を大規模に実施し、無症状者も含め「感染」している人を特定して、隔離・保護していくことが重要です。

本市でも市内の病院がPCR検査と感染者の受け入れを実施しており、それに対して市も検査体制の強化のために財政的な支援をおこなっていることに感謝します。今後、感染拡大のもとでは検査の目的を診断ではなく、「防疫」目的に切り替えて、感染震源地（エピセンター）の特定が必要と考えます。

以上の立場から、緊急に申し入れをさせていただきますので、ご検討いただきますようお願いをします。

記

- (1) 感染患者を受け入れている医療機関では、防護のための資材やベッドとスタッフの確保のための費用の負担、また、感染患者を受け入れていない一般病院や診療所でも、受診抑制による減収に苦しんでいます。引き続き市としての支援と国に対して財政的な支援を要望してください。
- (2) 医療機関、介護施設、福祉施設、保育所（園）、幼稚園、学校など、集団感染によるリスクが高い施設に勤務する職員や、出入り業者への定期的なPCR検査等をおこなってください。また、必要に応じて、施設利用者全体を対象にした検査をおこなってください。
- (3) 検査によって明らかになった陽性者を、隔離、保護、治療する体制をつくりあげてください。また、自宅待機を余儀なくされる市民には、家庭での看護や隔離に必要な生活物資や体調管理に必要な支援をおこなってください。
- (4) 今後、感染拡大の状況下では、地域ごとの検査状況や感染拡大状況について公表してください。